

2018年新春メッセージ

福岡県教職員組合の皆様、あけましておめでとうございます。

「災害後の症状は、異常な体験に対する正常な反応であるという認識をもつことが大切」

アメリカの FEMA（連邦緊急事態管理庁）のメンバーからいただいた心のケアに関するアドバイスです。

異常な体験は自然災害発生時に限ったことではありません。いじめ・暴力・虐待など、格差社会の中で基本的人権が侵害され、日常的に異常な体験をしている人々がいるのではないのでしょうか。

私たちは、自らが人権侵害の現実から深く学び、教育のあり方や人権のとらえ方を見つめ直す中で、一人ひとりの子どもの個性や違いを尊重し、互いに支えあい、助け合うような関係づくりを大切にしてきました。ともに生きる学校文化の創造は、ともに生きる社会の形成者としての主権者をはぐくむ教育のベースとなります。人権を基軸に据え、すべての子どもにゆたかな学びを保障するインクルーシブな学校づくりをすすめていきましょう。

今年は、立憲主義と民主主義をより発展させ、憲法の理念の実現をめざす歩みが続けるのか、平和主義、国際協調主義の道を踏みはずしていくのか、正念場の年になります。

すべての子どもたちに平和で民主的な社会を引き継ぐため、組織の拡大・強化をはかりながら、未来につなげる運動を強めてまいりましょう。

日本教職員組合 中央執行委員長

泉 雄一郎